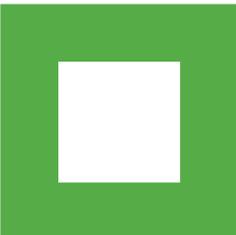




---

# 郵便貯金

---



# 2005

---

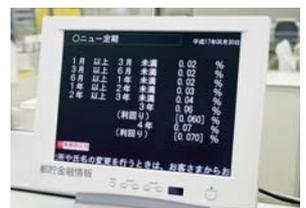
郵便貯金のディスクロージャー冊子

---



郵便貯金事業

一人ひとり  
そしてそのご家族にとって  
一番身近な存在であり続けたい



期間	年利	例
1年以上	0.02	100円
2年以上	0.03	100円
3年以上	0.04	100円
4年以上	0.05	100円
5年以上	0.06	100円
6年以上	0.07	100円
7年以上	0.08	100円
8年以上	0.09	100円
9年以上	0.10	100円
10年以上	0.11	100円

# ユニバーサルサービス

## 基礎的な金融サービスの提供

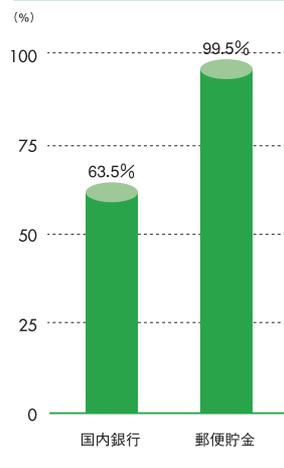
郵便貯金事業では、皆さまの身近にある郵便局を通じて、簡易で確実な貯蓄手段である郵便貯金、簡易で確実な送金決済の手段である郵便為替や郵便振替とともに、年金・恩給等の支払や国債の販売など、基礎的な金融サービスを提供しています。平成17年10月には投資信託の販売を予定しています。郵便貯金事業は、簡易保険事業とともに、郵便局ネットワークを通じて各ご家庭への総合的な金融サービスを提供することにより、家計のメインバンクとして機能する「ファミリーバンク」を目指しています。

## 個人のための金融機関

少子化・高齢化が急速に進展する中で、21世紀の日本を活力あふれる福祉社会とするためには、自己責任原則を基本とし、皆さまが自らの生活を高めようとして蓄える貯金を大切にできる社会システムが不可欠です。

小口の貯蓄手段を広く公平に提供する個人専門の貯蓄機関である郵便貯金は、不慮の出来事への備えとして、また、結婚、出産、教育、住宅そして老後とライフサイクルに必要な個人の自助努力による資産形成に寄与させていただいています。

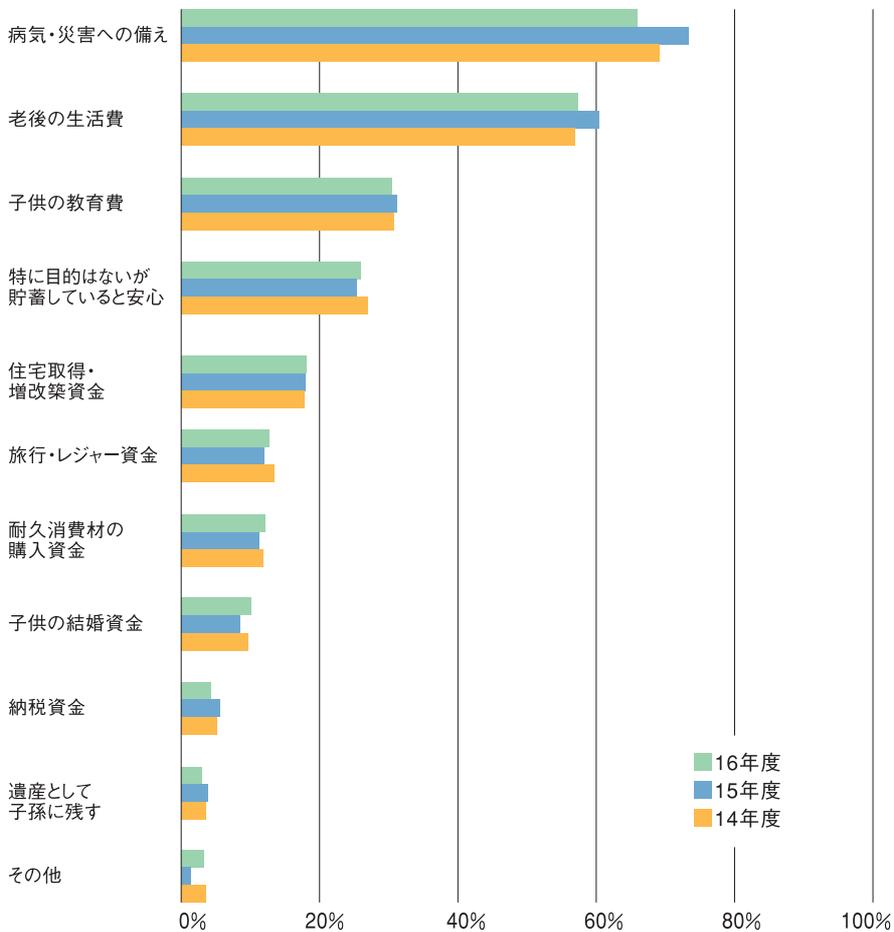
各金融機関の預貯金総額に占める個人預貯金の割合(16年度末)



## 貯蓄の目的

最近の金融広報中央委員会によるアンケート調査によれば、個人の貯蓄の目的は、① 病気や不時の災害への備え、② 老後の生活資金、③ こどもの教育資金、④ 住宅の取得資金が上位となっており、ライフサイクルに必要な資産形成のために貯蓄が行われているものと考えられます。

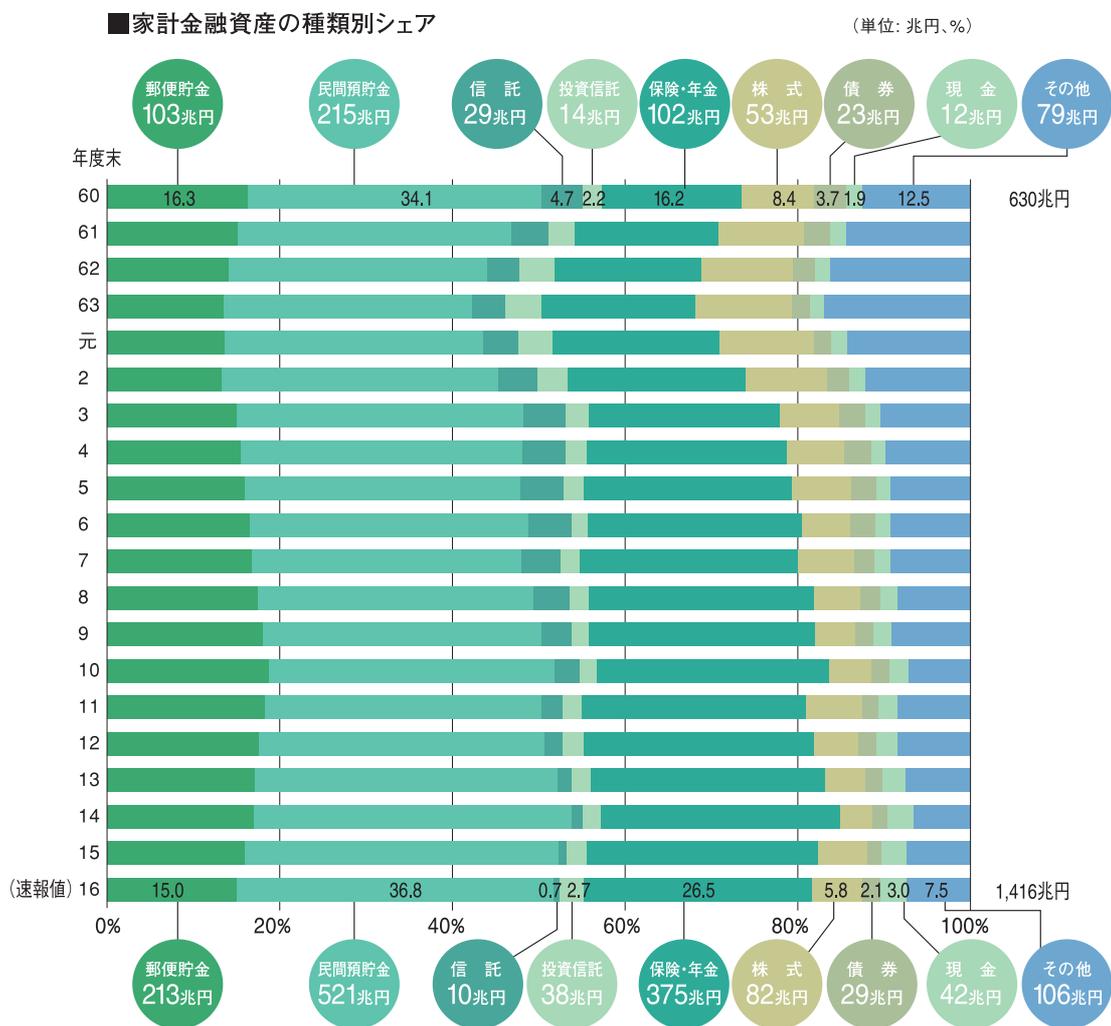
郵便貯金は、お客さまのライフサイクルイベントにおいて生起する金融ニーズに的確に対応したきめ細やかな資産運用面でのコンサルティングを実施していきます。



注：2人以上の世帯の3項目以内の複数回答  
資料：金融広報中央委員会「家計の金融資産に関する世論調査」

## 家計金融資産に占める郵便貯金の割合

個人の資産選択は多様化しており、郵便貯金は、預貯金のみならず、保険、信託、株式なども含めた多種多様な金融資産のひとつとして利用されています。そうした中で、郵便貯金が家計金融資産に占める割合は、安定的に推移してきました。平成12年度以降は、定額貯金の大量満期による払い戻しなどにより減少しており、今後も当面その減少傾向は続くものと見込まれます。



注：その他は、出資金、未収・未払金、預け金等です。  
資料：日本銀行「資金循環統計」

## 郵便貯金 2005

郵便貯金のディスクロージャー冊子

郵便貯金事業本部長メッセージ .....	8
----------------------	---

## 1

## ハイライト

<b>1 業務の状況</b> .....	<b>12</b>
1. 郵便貯金残高の状況 .....	12
2. 主な役務取引等の取扱状況 .....	12
<b>2 財務の状況</b> .....	<b>13</b>
1. 損益の状況 .....	13
2. 資産・負債の状況 .....	14
3. キャッシュ・フローの状況 .....	15
<b>3 郵便貯金資金の運用状況</b> .....	<b>16</b>
<b>4 トピックス</b> .....	<b>17</b>
1. 投資信託の販売開始 .....	17
2. Pay-easy（ペイジー）サービスの拡充 .....	19

## 2

## 経営の取組

<b>1 中期経営目標・中期経営計画（郵便貯金業務）</b> .....	<b>22</b>
1. 中期経営目標 .....	22
2. 中期経営計画 .....	22
<b>2 平成17年度経営計画（郵便貯金業務）</b> .....	<b>24</b>
1. 事業計画 .....	24
2. 郵便貯金資金の運用計画 .....	24
<b>3 アクションプラン・フェーズ2</b> .....	<b>25</b>
<b>4 コンプライアンス</b> .....	<b>26</b>

<b>5</b>	<b>リスク管理への取組</b> .....	<b>28</b>
1.	基本的な考え方 .....	28
2.	リスク管理体制 .....	28
3.	具体的な管理方法 .....	30
<b>6</b>	<b>郵便貯金資金の運用</b> .....	<b>32</b>
1.	郵便貯金資金の運用の意義 .....	32
2.	郵便貯金資金の運用の経緯 .....	32
3.	自主運用の状況 .....	33
4.	郵便貯金の委託運用 .....	34
<b>7</b>	<b>金利の設定</b> .....	<b>35</b>
<b>8</b>	<b>個人情報保護の取組</b> .....	<b>36</b>
<b>9</b>	<b>お客さま満足度の向上</b> .....	<b>37</b>
<b>10</b>	<b>JPSの取組</b> .....	<b>38</b>
<b>11</b>	<b>環境への取組</b> .....	<b>39</b>
	郵政エコプラン（日本郵政公社環境中期計画）等 .....	39
<b>12</b>	<b>社会貢献活動</b> .....	<b>42</b>
1.	福祉への貢献 .....	42
2.	非常時の対応 .....	44
3.	地域社会との交流 .....	45
4.	地域社会への貢献 .....	46
5.	国際社会への貢献 .....	47
6.	国際交流 .....	49

# 3

## 郵便貯金業務概要

<b>1</b>	<b>組織の概要、役員の氏名・役職</b> .....	<b>52</b>
<b>2</b>	<b>業務の内容</b> .....	<b>54</b>
<b>3</b>	<b>商品・サービスのラインアップ</b> .....	<b>55</b>
1.	郵便貯金の商品 .....	55
2.	送金サービス .....	56
3.	国際送金サービス .....	57
4.	その他のサービス .....	58
<b>4</b>	<b>都道府県別郵便局数（郵便貯金）</b> .....	<b>61</b>
<b>5</b>	<b>その他の業務概要</b> .....	<b>62</b>
1.	ATMの設置 .....	62
2.	都道府県別ATMの設置数 .....	62
3.	郵便貯金窓口の取扱時間 .....	62
4.	ATMの取扱時間 .....	63
5.	国債の販売 .....	63
6.	公的年金の支払い事務 .....	64
7.	各種国庫金の受払事務 .....	64
8.	確定拠出年金の取扱状況 .....	65
	参考：組織の概要、役員の氏名・役職 .....	66

<b>6</b>	<b>お客さま相談窓口</b> .....	<b>67</b>
1.	郵便貯金の相談窓口 .....	67
2.	郵便貯金カード紛失センター .....	69
3.	暮らしの相談センター .....	69
4.	その他の相談窓口 .....	69
<b>7</b>	<b>本社及び支社の所在地</b> .....	<b>70</b>
<b>8</b>	<b>郵便貯金会館等</b> .....	<b>70</b>
1.	設置状況 .....	70
2.	平成16年度の経営状況 .....	71
<b>9</b>	<b>沿革</b> .....	<b>72</b>

# 4

## 資料編

<b>1</b>	<b>財産の状況</b> .....	<b>76</b>
1.	公社会計と業務区分別整理のあらまし .....	76
2.	郵便貯金業務の区分に係る貸借対照表の内訳 .....	77
3.	郵便貯金業務の区分に係る損益計算書の内訳 .....	79
4.	郵便貯金業務の区分に係るキャッシュ・フロー計算書の内訳 .....	81
5.	債務者区分による債権の状況 .....	85
6.	有価証券等の時価情報 .....	85
7.	貸倒引当金の期末残高及び期中の増減額 .....	88
8.	債権償却の額 .....	88
<b>2</b>	<b>業務の状況</b> .....	<b>88</b>
1.	業務の状況を示す指標 .....	88
2.	郵便貯金に関する指標 .....	90
3.	資産運用に関する指標 .....	106
<b>3</b>	<b>主な情報提供資料</b> .....	<b>120</b>
1.	ディスクロージャー冊子 .....	120
2.	郵便貯金ホームページ .....	120
3.	郵便局ホームページ、日本郵政公社ホームページ .....	121
4.	情報公開窓口 .....	122

# 5

## ご案内

<b>1 郵便貯金の預入限度額等</b> .....	<b>124</b>
1. 郵便貯金の預入限度額 .....	124
2. 郵便貯金の貸付限度額 .....	124
3. 郵便貯金通帳の冊数制限 .....	124
4. 郵便貯金の預入限度額、貸付限度額と冊数制限の管理 .....	124
<b>2 郵便貯金の本人確認</b> .....	<b>125</b>
<b>3 郵便貯金の非課税制度</b> .....	<b>125</b>
<b>4 郵便貯金の権利消滅</b> .....	<b>127</b>
<b>5 郵便貯金利子端数計算方法の変更</b> .....	<b>127</b>

<b>日本郵政公社法施行規則に基づく索引</b> .....	<b>129</b>
<b>索引</b> .....	<b>131</b>

## メッセージ

皆さまには、平素から郵便局、郵便貯金をご利用いただき、誠にありがとうございます。

本ディスクロージャー誌では、平成16年度（2004年度）の郵便貯金の業績、17年度（2005年度）における課題への取組などについてご紹介いたします。本書を通じまして、皆さまの郵便局、郵便貯金に対するご理解を深めていただければ幸いです。

### 2004年度の総括

#### 郵政公社2年目を振り返って

郵政公社は、設立以来、経営理念と3つの経営ビジョンを掲げ、4年間の中期経営目標・中期経営計画を確実に達成するため、最初の2年間（フェーズ1）の行動計画である「アクションプラン」を策定し、コスト削減やJPS（Japan Post System：「トヨタ生産方式」を応用した日本郵政公社の業務改善手法）の導入など、「意識と文化の改革」を含め抜本的な改革を推進してまいりました。

こうした取組の結果、公社2年目の収益目標、経費削減目標は概ね達成され、一定の成果を得られたとともに、郵便貯金事業として更なる一歩が踏み出せたと考えますが、顧客サービスの充実や業務品質の向上など、お客さま満足の高いリテールサービスを提供していくために解決すべき課題を確認することができた年でもありました。

#### 公社2年目の郵便貯金決算

平成16年度の郵便貯金は、「ファミリーバンク構想」の下、全国のお客さまが親しみやすく、便利な金融インフラを目指し、「真っ向サービス」の精神で日々の業務に取り組んでまいりました。

営業面では、ALM（Asset liability management：資産負債総合管理）の観点から計画的な営業推進を行った結果、年度末残高は214.1兆円（前年度比13.2兆円減）となり、健全なスリム化が進展しました。運用面では、国内債券を中心に安全・確実な資金運用に努めました。また、営業経費（人件費・物件費等）については、システム関係経費の削減などにより、大幅なコスト削減に努めました。

こうした取組による平成16年度の決算ですが、金銭の信託の運用益を除く利益は、1兆660億円となり、概ね見込みどおりの利益を計上することができました。郵便貯金業務の当期純利益は、1兆2,095億円（前年度比1兆659億円減）となり、当期純利益を前年度と比較した場合、平成16年度の当期純利益は大幅に減少していますが、これは主に株の評価益が大半を占める金銭の信託の運用益が減少したことによるものであり、中長期的な視点から評価すべきものであると考えております。

### 2005年度を取組

#### アクションプラン・フェーズ2

公社第1期（平成15～18年度）の総仕上げとして、改革を更に前進・定着させ確実なものとするため、後半の2年間（フェーズ2）の行動計画である「アクションプラン・フェーズ2」を策定しました。

フェーズ1で培ってきた力をベースに将来に向けての成長に全力で取り組み、郵便局がご家

庭のメインバンク、「ファミリーバンク」として、これまで以上にお客さまのニーズにマッチした金融商品・サービスを提供していくため、コンサルティング機能を充実させ、継続的なお取引関係の構築が図れるよう努めてまいりたいと思います。

### 投資信託の窓口販売

平成17年10月の販売開始を予定している投資信託は、郵便局が将来にわたって金融サービスの拠点としてお客さまの信頼に応えることができるか、「ファミリーバンク」としての郵便局の真価が問われるプロジェクトです。これにより郵便局のコンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー的機能を強化し、お客さまの健全な資産形成のお手伝いをさせていただくとともに、証券市場の活性化のための一翼を担えることになると考えております。他方で投資信託はリスク性のある商品ですので、お客さまのご信頼を裏切ることのないよう、一層のコンプライアンスの徹底を図ってまいります。

### 個人情報保護への取組

「独立行政法人に対する個人情報保護法」が平成17年4月1日に施行されましたが、お客さまのお取引を安全かつ確実に進め、より良い商品・サービスを提供していく上で、お客さまの個人情報の保護は最重要なテーマであると考えております。郵便貯金事業では、個人情報を確実に保護するため、お客さまからお預かりする個人情報の利用目的を公表し、その利用目的の範囲内で利用するなど、個人情報保護関連法令などを遵守し、その取扱いには十分な注意を払い、厳正に管理してまいります。

### 終わりに

郵便貯金事業は、今後ともお客さまからお預かりしました資金の安全・確実な運用に努め、リスク管理やALMなどをしっかり行うとともに、投資信託の販売などフィービジネスを強化し、また、一層のコスト削減やJPSによる生産性の向上に積極的に取り組むことにより、健全経営の確保に全力を注いでまいりたいと思います。また、「ファミリーバンク」として、「お客さまにとって一番身近で利用したい金融機関」を目指し、地域のお客さまにご満足いただけるサービスの提供に努めてまいりますので、一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年8月



日本郵政公社 金融総本部  
郵便貯金事業本部長 斎尾 親徳

本冊子内の表中の数値及びパーセント表示は、単位未満の端数を四捨五入して表示していますが、財務諸表計数（郵便貯金残高を除く）等については、単位未満の端数を切り捨てて表示しています。